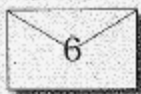


# カナダからの手紙

倉吉RC交換留学生の見た世界



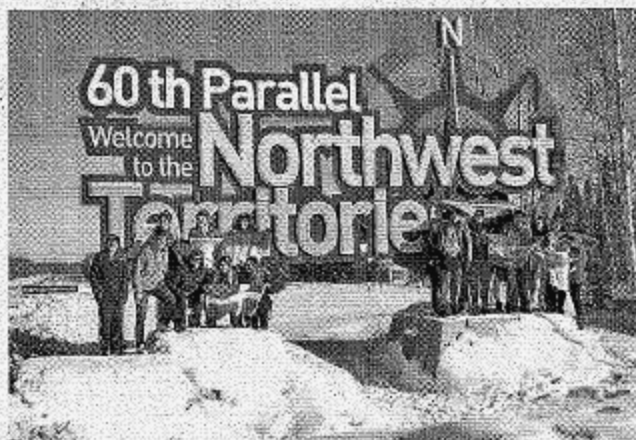
浦田 大地

皆さん、こんにちは。早いものでもう3月になってしまいました。最近なぜかわからないのですが、時がたつのが早い気がします。約4カ月しか留学の時間が残されておらず、これから帰国まで何をしようかと考えているところです。

生たちと一緒に生きてきました。人口約1万8千人という小さな町でありながら、美しい街並みや自然に恵まれ、非常に有名な観光地になっています。実は日本人にも人気があるようで、その1週間で本当に多くの方に出会いました（鳥取出身の方は残念ながらおられませんでした）。

話によるときれいな夜空を見るという目的で訪れておられる方がほとんどでした。愚かな話ですが、僕はあまりの

イエローナイフのあるノースウェスト準州で



寒さに疲れてしまい、夜は完全に疲れて爆睡していたため、一度も夜空を見上げることなく旅を終えてしまいました。どうもオーロラが現れていたとのこと、とても後悔しています。しかし、必ず将来見に行きたいと思います。さて、この町で体験したことについてですが、特にネイティブカナディアンの古くから伝わる手遊びやダンスなどの民族伝承を学んだことが印象的でした。以前は一切彼らの文化に対して知識がなかったのですが、その体験はいろいろなことを教えてくれました。

一つ目に、すべての物事に對して尊敬の意を示すということ。例えば彼らは、楽器の演奏をする際には、体を洗い気持がすべて楽器に向いているかを確かめるそうです。すべてのものには魂が宿り、それを大切にするといいです。二つ目に、他人と共有し、決して独占はしないということです。他人が苦しみは、助ける。一見当たり前のようなことですが立ち止まって考えてみると意外とできていないことでもある気がします。共有すること、他を尊敬すること、もう一度見直したいと思っています。

## イエローナイフ ネーティブカナディアンに学ぶ

（カナダ留学中、倉吉市出身）  
（月1回掲載）